

平成 26 年度日本NGO連携無償資金協力
贈与契約署名式典
隈丸 優次 大使 スピーチ
平成 27 年 2 月 25 日(水) 於:大使館多目的ホール

公益財団法人結核予防会

カンボジア事務所プロジェクトコーディネーター 小林 繁郎様、

ご列席の皆様、

本日は、公益財団法人結核予防会が日本NGO連携無償資金協力により実施する「プレイヴェン州ピアレン医療圏結核診断体制強化プロジェクト(第2期)」の贈与契約に署名でき大変嬉しく思います。

日本政府は、1992 年よりトップドナーとして幅広い分野においてカンボジアの復興・開発を支援してきました。保健分野についても、国立結核センターをはじめとする医療施設の整備や人材育成を通じて、カンボジアの保健医療分野の改善に貢献してきました。

カンボジア政府の努力及び日本を含むドナーの支援により、近年、結核感染率は大きく改善しているものの、カンボジアは、未だ結核高負担国であり、感染率削減への取り組みが必要な状況が続いています。

公益財団法人結核予防会は、長年にわたりカンボジアで結核に対する支援活動を展開されています。昨年度の第1期事業では、村落ボランティアやヘルスセンタースタッフへの研修を通じた、結核患者の発見能力の強化支援、及び医師や放射線技師への技術研修を通じた結核診断能力の強化支援が行われました。本事業でも更なる支援が行われることで、地域における結核患者をさらに減少させることで、貧困削減に貢献することを期待しております。

最後になりますが、日本NGO連携無償資金協力は日本のNGOが実施する、草の根レベルに直接裨益する経済・社会開発事業に対して供与されるものです。本日署名した事業が対象地域の住民に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願って、私からの挨拶とさせていただきます。

ご静聴ありがとうございました。